保存版

千丈川洪水ハザードマップ

－自らの判断で早め早めの避難行動を開始してください！－

昭和18年7月洪水（浜田橋）

昭和18年7月洪水（矢野町3）

平成16年6月洪水（千丈川・五反田川合流点）

平成16年8月洪水（新開町）

八幡浜市　平成29年3月作成

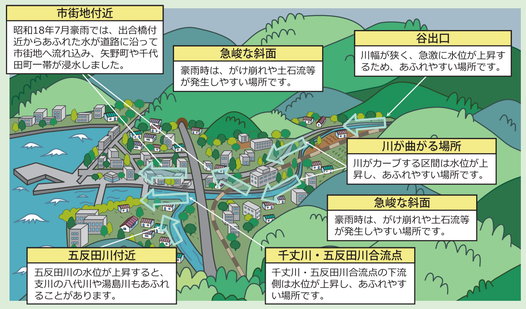
1 千丈川の水害特性を覚えてください（事前準備①）

1 千丈川は **流域面積が小さいため、延長が短く、川幅も狭い中小河川です！**

- 流域のほとんどが急峻な地形です。上流域は河床勾配が急で、谷幅が狭い中山間地を流れ、下流域は細長く狭い平地部に形成された市街地の中を流れています。

2 千丈川は **豪雨や台風による洪水被害が発生しやすい河川です！**

- 山間部で降った雨が市街地に到達するまでに約１時間と短く、今までに経験したことのない大雨時には**急激に水位が上昇し、短時間で市街地全体が浸水する可能性**があります。
- 千丈川の氾濫から**安全に避難するには「早め早めの避難行動」が重要**です。



千丈川流域の水害イメージ図
（地形条件、既往水害を参考に作成しています）

3 千丈川は **古くから洪水氾濫を繰り返してきた河川です！**

- 今から約70年以上前の昭和18年7月豪雨では、**千丈川や五反田川から水があふれ**、家屋の倒壊、田畑の流失など甚大な被害が発生しています。
- 近年では、平成16年台風第16号の際に、新開町等で**局所的に床下浸水が発生**しています。

八幡浜市における主な洪水災害

発生年月	要　因	経過年数
1884（明治17）年8月	豪雨	133年前
1901（明治34）年7月	豪雨	116年前
1920（大正9）年6月	豪雨	97年前
1943（昭和18）年7月	豪雨	74年前
1980（昭和55年）9月	台風第13号	37年前
1993（平成5）年 9月	台風第13号	24年前
2004（平成16）年 8月	台風第16号	13年前

昭和18年7月豪雨における市街地の洪水氾濫の様子

【千代田町】 通りが浸水しているため小舟で移動しています。

【八幡神社前】 氾濫流が勢いよく道路を流れています。

2 「どこへ」、「どのように」避難すればよいか、地図で確認してください（事前準備②）

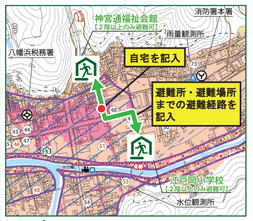
「いざ避難！」という時のために、ハザードマップを広げて、以下の項目を確認しておきましょう。

1. 自宅とその周辺の水害及び土砂災害の危険な場所を確認しましょう！

①マップ上で**自宅の位置を確認**し、自宅の場所が目立つようにマジック等で印をつけてください。
②マップ上で自宅周辺の**水害及び土砂災害の危険な場所を確認**してください（マップ上の凡例を参照してください）。

水害の危険な場所	土砂災害の危険な場所
■ 自宅は**浸水想定区域**の中にありますか？ ■ 自宅の**想定浸水深**は何mですか？ ・0.5m未満 ・0.5m～3m未満 ・3m～5m未満 ■ 自宅は**早期に立退きが必要な区域**の中にありますか？ ・家屋倒壊等氾濫想定区域 ・家屋が水没するおそれのある区域	■ 自宅周辺に**土砂災害特別警戒区域**及び**土砂災害警戒区域**はありますか？ ・土砂災害特別警戒区域 ・土砂災害警戒区域（急傾斜地の崩壊） ・土砂災害警戒区域（土石流） ■ 自宅周辺に**土砂災害危険箇所**はありますか？ ・急傾斜地崩壊危険箇所 ・土石流危険渓流 ・地すべり危険箇所

詳細は「土砂災害ハザードマップ（H28.5）」で確認してください！



③マップ上で自宅から**最寄りの避難所・避難場所を確認**し、その場所が分かるようにマジック等で印をつけて覚えてください。

☛ 水害や土砂災害で被災する危険性のある避難所・避難場所は避けましょう。

避難所 避難場所

④マップ上で自宅から避難所・避難場所までの経路を結んで、家族と一緒に避難経路を考えてください。その避難経路が分かるように、マジック等でマップ上に書き込んでください。

☛ 水害や土砂災害の危険箇所、川の近くや橋は避けましょう。
☛ 複数の避難所・避難場所、避難経路を考えておきましょう。
☛ 避難所・避難場所までの移動時間を推定してください。（特に高齢者等、時間を要する方の移動には余裕をもって）

マップ上で確認する事項

避難所 避難場所とは

指定避難所	被災者等が一定期間滞在するための施設（市が指定）
指定緊急避難場所	一時的・緊急的に避難する場所のうち、市が災害種別ごとに指定しているもの
自主的な緊急避難場所	一時的・緊急的に避難する場所のうち、地域が災害種別ごとに開設するもの

3. 家族や隣近所で災害時の対応を話し合いましょう！

⑤避難所・避難場所、避難経路など**水害時の対応を家族や隣近所と話し合い**、「いつ」、「どこへ」、「どのように」避難すればよいか情報を共有してください。
⑥被災した場合の**安否確認や連絡方法を家族や隣近所と確認**し、定期的に訓練してください。

NTT災害用伝言ダイヤル(171)　　災害用伝言板(web171)

4. 避難所・避難場所、避難経路を歩いて自分で確かめましょう！

⑦皆さんが考えた全ての避難経路を実際に歩いて、**避難する際に安全に通行できるか自分の目や感覚で確認**してください。

3 「いつ」避難すればよいか、防災情報の種類と内容を確認し、覚えてください（事前準備③）

防災情報の種類及びその内容を正しく理解し、いつでも情報を入手できるようにしておきましょう！

情報の種類	情報のイメージ	情報の入手方法
八幡浜市内の避難情報 （八幡浜市発表）	**避難準備・高齢者等避難開始** 災害が発生する可能性があります 「早めに避難してください！」 ■ 平成28年台風第10号による水害の教訓から名称が変更されました。 ■ 高齢者等の要配慮者とその支援者は避難行動を開始してください。 ■ 気象情報等に注意し、危険を感じたら早めに避難行動を開始してください。	テレビ ラジオ / 防災メール 防災SNS / 消防署 消防団 / インターネット / 広報車 / 自主防災会 / 防災行政無線 / 5 詳しくは を見てください
	避難勧告 災害が発生するおそれがあります 「速やかに避難してください！」 ■ 速やかに避難行動を開始してください。	
	避難指示（緊急） 緊急に避難が必要な状況です 「直ちに避難してください！」 ■ 人的被害が発生する危険性があります。直ちに安全な場所へ避難してください。	
気象情報 （気象庁・松山地方気象台発表）	松山地方気象台が発表する気象情報 大雨に関する気象情報 → 大雨注意報（この段階で注意を！） → 洪水注意報（この段階で警戒を！） → 大雨警報 → 洪水警報 → 大雨特別警報 大雨がさらに降り続き、重大な災害が起こる危険性が非常に高まる 特別警報が発表されていなくても、早め早めの避難行動を！	テレビ ラジオ / 防災メール 防災SNS / インターネット / 緊急速報メール
千丈川の氾濫警戒情報・水位情報 （愛媛県発表）	レベル5 氾濫が発生したときには — 氾濫発生情報の発表 レベル4 氾濫危険水位（▽2.8m）に到達すると — 氾濫危険情報の発表 レベル3 避難判断水位（▽2.3m）に到達し、さらに水位の上昇や氾濫危険水位への到達が見込まれる場合 — 氾濫警戒情報の発表 レベル2 氾濫注意水位（▽2.0m）に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合 — 氾濫注意情報の発表 護岸	テレビ ラジオ / 防災メール 防災SNS / インターネット / 緊急速報メール / 水位表示板（出合橋）
土砂災害警戒情報 （愛媛県・松山地方気象台発表）	土砂災害の危険が高まっています 「早めに避難してください！」 ■ がけ崩れや土石流がいつ発生してもおかしくない危険な状況です。 ■ 自主的に安全な場所へ避難してください。	テレビ ラジオ / 防災メール 防災SNS / インターネット / 緊急速報メール

4 正確な防災情報の入手方法を確認・登録してください（事前準備④）

1. 防災情報の伝達方法を確認し、正確な情報を自ら収集して活用しましょう！

情報の伝達方法	情報の特徴	情報の入手
テレビ ラジオ 地上デジタル放送（dボタン） ケーブルテレビ AM・FMラジオ	**防災情報を一番入手しやすい手段**です。「dボタン」で最新の情報を確認しましょう。	視聴
インターネット 気象庁・松山地方気象台ホームページ **国土交通省「川の防災情報」** **愛媛県河川・砂防情報システム** 八幡浜市ホームページ	ＰＣ、スマートフォンを持っていない人は、**隣近所でお持ちの方から防災情報を得られるようにしておきましょう。**	アクセス
防災メール 防災SNS 愛媛県防災メール えひめ河川メール 八幡浜市防災メール 八幡浜市防災SNS 緊急速報メール（登録不要）	携帯電話やスマートフォンに登録しておくと、**防災情報が発表・発令されると自動配信され、入手することができます。**	登録 自動配信
防災行政無線	音声自動応答サービス（電話） **豪雨時は放送内容が聞こえづらくなる**ため、電話で確認できます。（下表右上参照）	電話
呼びかけ（巡回・屋外スピーカー）		巡回・放送
消防署・消防団 広報車（八幡浜市） 自主防災会	呼びかけ（巡回） 雨の降り始めは巡回の呼びかけが聞こえますが、雨が激しくなるにつれて、**雨や風の音等で次第に巡回の呼びかけが聞こえづらくなります。**	巡回

市民の皆さん

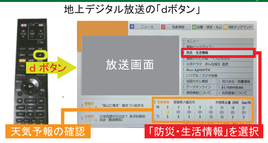
2. 防災情報の入手方法を確認しましょう！

愛媛県、八幡浜市の防災メールや防災SNSに登録すると、情報を入手できます。

テレビ（地上デジタル放送）のリモコンで「dボタン」を押し、「防災・生活情報」を選択すると情報を入手できます。

インターネットの場合は、情報の入手先（川の防災情報等）をキーワード検索してください。

地上デジタル放送の「dボタン」



天気予報の確認　「防災・生活情報」を選択

防災メール・SNS等の登録先

■ 愛媛県防災メール ・防災情報や緊急速報を配信 bousai.ehime-pref@ehime-pref.ktaiwork.jp	■ えひめ河川メール ・雨量や河川の水位情報を配信 http://www.kasenalarm.pref.ehime.jp	■ 八幡浜市防災行政無線（音声自動応答サービス） ・防災行政無線の放送内容を確認 （電話番号）22-5991　※有料
■ 八幡浜市防災メール ・八幡浜市で発表された防災情報を配信 bousai.yawatahama@raiden.ktaiwork.jp	■ 八幡浜市防災SNS ・緊急時の災害情報等を配信 （Twitter）https://twitter.com/YawatahamaBosai （Facebook）https://www.facebook.com/YawatahamaBousai	■ 松山地方気象台ホームページ http://www.jma-net.go.jp/matsuyama/ ■ 国土交通省「川の防災情報」http://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do ■ 愛媛県河川・砂防情報システム http://www.pref.ehime.jp/kasen/Default.htm
■ docomo災害用キット ・NTTドコモの災害関連サービス（エリアメール）を利用できるアプリ（アプリサイトからダウンロード）	■ au災害対策 ・auの災害関連サービス（緊急速報等）を操作できるアプリ（アプリサイトからダウンロード）	■ Yahoo! 防災速報 ・緊急地震速報や豪雨予報、避難情報等をいち早く知らせるアプリ http://emg.yahoo.co.jp/

※ QRコードを携帯電話等で読み込んで登録してください。

5 いつもより雨が強いなと感じたら、早め早めに避難準備を開始してください（避難行動①）

1. 大雨注意報、氾濫注意情報は発表されていませんか？

- テレビやラジオ、インターネット等で**防災情報を確認**してください。特に数時間後の降雨予測を確認してください。
- 窓から外の様子をのぞいてみましょう。
  - ☛ 雨がザーザーと降っていませんか？
  - ☛ 道路は地面一面に水溜まりができていませんか？
  - ☛ 車のワイパーが通常の速さでは前方が見づらくないですか？

雨の様子

屋外の様子

2. 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら

避難準備を始めてください！

- ハザードマップで避難所・避難場所と避難経路を確認し、持出品や雨具、杖などを準備してください。

重　要

高齢者等の要配慮者とその支援者の方は早め早めの避難行動を開始してください！

- 高齢者や身体が不自由な方など、要配慮者が避難するには、外出の準備や避難所・避難場所までの移動に時間がかかります。
- 夜間に大雨が降る予報が出ている場合は、隣近所に声がけするなど、日没までに避難所・避難場所への移動を完了しましょう。
- 要配慮者利用施設の方々が避難するには、服装や車椅子、医療器具等の準備や専用自動車の手配等が必要となるため、避難所・避難場所までの移動に時間がかかります。

天気予報

コラム　犠牲者の８割が高齢者　～ 過去の災害の教訓（新潟県の事例より）～

平成16年7月、突然の大豪雨が新潟県を襲いました。1日で約2ヶ月分の雨が降りました。地域コミュニティーは形成されていました。しかし、いざ災害が発生すると、避難するための時間的余裕がありませんでした。
死者16名のうち、13名が70歳以上の高齢者でした。

出典：国土交通省水害レポート2004

なぜこのような被害となったか・・・

避難勧告は発表されたが・・

広報車による呼びかけをしましたが、激しい雨にかき消され、避難勧告に**気づかなかった**住民もいました。

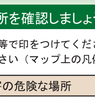
避難が遅れてしまい・・

堤防が決壊した後に避難を開始した住民の多くが家屋の２階や屋根の上に**取り残され**ました。

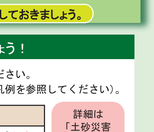
6 雨がどしゃ降りになったら、早め早めの避難行動を開始してください（避難行動②）

1. 大雨警報や洪水注意報、氾濫警戒情報は発表されていませんか？

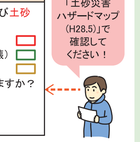
- テレビやラジオ、インターネット等で**防災情報を確認**しましょう。特に数時間後の降雨予測を確認しましょう。
- 窓から外の様子を確認しましょう。
  - ☛ 雨がどしゃ降りになっていませんか？
  - ☛ 道路は地面一面に水溜まりができていませんか？
  - ☛ 車のワイパーを速くしても前方が見づらくないですか？



雨の様子



屋外の様子



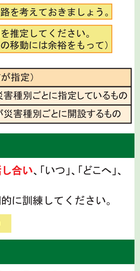
2. 避難勧告が発令されたら

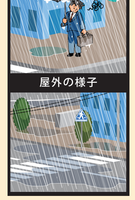
「早期の立退き避難が必要な区域」内にお住いの方は、直ちに避難行動を開始してください！

- 避難のタイミングが遅れると、安全に避難することが難しくなります。早め早めの避難行動を開始してください。

区域外にお住いの方は早めに避難行動を開始してください！

- どしゃ降り時や日没後は視界が悪く、避難所・避難場所まで安全に移動することは困難です。川を渡る橋や標高の低い場所では、川の水位上昇や道路冠水で通行できない場合があります。
- 夜間から早朝にかけて雨足が強まる場合があります。就寝前に気象情報を再確認してください。
- 避難が必要と判断したら、家族や隣近所に声がけして、早め早めの避難行動を開始してください。





7 バケツをひっくり返したような激しい雨になったら、直ちに避難してください（避難行動③）

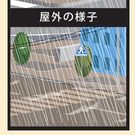
1. 洪水警報や氾濫危険情報、土砂災害警戒情報は発表されていませんか？

- テレビやラジオ、インターネット等で**防災情報を確認**しましょう。
- 窓から外の様子をのぞいてみましょう。
  - ☛ 雨がバケツを引っくり返したように降っていませんか？
  - ☛ 道路が川のようになっていませんか？
  - ☛ 車のワイパーを速くしても前方の視界がほとんど見えなくなっていませんか？

2. 避難指示（緊急）が発令されたら

直ちに避難してください！避難を完了してください！

- 避難するときは、なるべく２人以上で行動してください。
- 川からあふれた水は勢いが強く濁っています。水面下の段差や側溝など、足元に注意して移動してください。
- 避難所・避難場所まで移動が困難な場合は、近隣で2～3階以上の鉄筋コンクリート造などの堅固な建物に避難し、屋内で安全を確保してください。
- 特に裏山の斜面や渓流では、がけ崩れや土石流等が発生する危険性が高まっています。土砂災害のおそれのある場所には近づかないように避難してください。



8 滝のような激しい雨になったら、無理な避難はやめてください（避難行動④）

1. 大雨特別警報、氾濫発生情報は発表されていませんか？

- テレビやラジオ、インターネット等で**防災情報を確認**してください。
- 窓から外の様子をのぞいてください。
  - ☛ 雨が滝のように降っていませんか？ゴーゴーと降り続いていませんか？
  - ☛ 道路が水しぶきで辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなっていませんか？
  - ☛ 車のワイパーが使えなくなっていませんか？

この段階での立退き避難はとても困難です。命にかかわります。

- その時の水位に応じて、近隣で２～３階以上の鉄筋コンクリート造など堅固な建物内で安全を確保（垂直避難）してください。
- 千丈川が氾濫すると、水が引くまでの時間は最大で約半日～１日と想定されています。そうなる前に早めに避難してください。

雨の様子

屋外の様子

9 早め早めの避難行動が開始できるように、水害を想定した避難訓練を行いましょう（事前準備⑤）

「いざ避難！」という時に備えて、家族や隣近所で話し合い、避難行動の準備をしておきましょう。

1. 地震・津波訓練だけではなく、水害を想定した避難訓練も行いましょう！

- 避難所・避難場所までの移動にどれくらい時間がかかるのか、避難経路の途中に危険な場所はないのか、水害時の避難行動を確認しておきましょう。
- 訓練時にはハザードマップを活用して、避難所や避難場所、避難経路の安全性を確認しましょう。

2. 避難時の持ち出し品を準備しましょう！

- 避難するときの荷物は、いつでも持ち出せるように事前に準備してください。
  - □ラジオ　□懐中電灯　□薬・貴重品（財布等）
  - □非常用食料　□飲料水　□衣類（着替え）　など

千丈川流域に住むみなさまへ！

- **千丈川が一度氾濫すると、短時間で氾濫区域が拡大し、市街地全体が浸水する可能性があります。**
- **自ら必要な情報を収集し、自らの判断で「早め早めの避難行動」を開始することが重要です。家族や隣近所に声がけして、早め早めの避難行動を開始してください。**
- **常に最新の防災情報を入手し、状況の変化に応じた避難行動を心掛けてください。**